# 2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日


上場会社名　アライドアーキテクツ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6081　URL https://www.aainc.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役会長　(氏名) 田中　裕志
問合せ先責任者　(役職名) 取締役　CAO　兼　CFO　(氏名) 野口　敦司　TEL 03-6408-2791

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年12月期第3四半期 | 2,061 | △6.9 | △127 | ― | △156 | ― | △474 | ― |
| 2025年12月期第3四半期 | 2,215 | △14.0 | △168 | ― | △155 | ― | △554 | ― |

(注) 包括利益　2026年12月期第3四半期　△184百万円　(―%)　2025年12月期第3四半期　△721百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年12月期第3四半期 | △28.33 | ― |
| 2025年12月期第3四半期 | △39.04 | ― |

### (2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年12月期第3四半期 | 3,327 | 2,320 | 65.0 |
| 2025年12月期 | 3,193 | 1,916 | 55.1 |

(参考) 自己資本　2026年12月期第3四半期　2,163百万円　2025年12月期　1,758百万円

## 2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年12月期 | ― | 0.00 | ― | 0.00 | 0.00 |
| 2026年12月期 | ― | 0.00 | ― | | |
| 2026年12月期(予想) | | | | ― | ― |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

## 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,720 | △9.1 | △185 | ― | △215 | ― | △550 | ― | △31.65 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 有

新規 1 社 (社名) アライドクリプト株式会社 、 除外 3 社 (社名) Book & Entries Capital Pte. Ltd.,Super Faction Pte. Ltd.,Creadits株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 有

(注) 詳細は、添付資料P．7「2．四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(修正再表示)」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2026年12月期3Q | 19,269,582 株 | 2025年12月期 | 15,899,482 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年12月期3Q | 55,090 株 | 2025年12月期 | 45,220 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2026年12月期3Q | 16,755,870 株 | 2025年12月期3Q | 14,207,301 株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1．(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（修正再表示） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 10

## １．当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1)経営成績に関する説明

わが国経済は、円安基調の継続による輸入コストの上昇、資源・エネルギー価格の高止まり、人手不足を背景とした賃金水準の上昇等により、依然として不透明な状況が続いております。一方、生成AIをはじめとする先進技術の急速な普及と社会実装が進展し、企業のAI活用需要は引き続き拡大しております。特にマーケティング分野においては、広告ROIの頭打ちと顧客接点の複雑化により、企業の主要課題が施策の実行領域から戦略・データ活用の上流へとシフトしており、AIを活用した一気通貫型のマーケティング支援需要が顕著に拡大しております。

このような環境下、当社グループは当期より報告セグメントを「マーケティングAX事業」及び「資産AX事業」の２区分に再編し、AI Transformation（AX）カンパニーへの変革を加速させております。

マーケティングAX事業においては、マーケティング実行・戦略・経営レイヤーへの一気通貫支援を実現する「三層支援モデル」の全社定着が進み、戦略・経営領域への上流支援が本格化いたしました。当第３四半期連結会計期間においては、当社独自のデータ分析基盤「Kaname.ax®」を軸に、株式会社円谷プロダクションとの業務提携（2026年9月11日公表）及びトレジャーデータ株式会社との業務連携など、社外パートナーとの新たな取組みを開始いたしました。また、AIエージェントの開発・稼働管理を専門に担う子会社「AI Anchor株式会社」を2026年10月１日に設立し、AIエージェントの全社展開をさらに加速させております。一方で、一部の大口顧客における広告出稿の停止や予算の縮小に加え、プロダクトの一部の契約が更新に至らなかったことから、既存顧客からの売上が減少いたしました。また、提案内容の高度化に伴い、データ活用領域の案件を中心に受注までの検討期間が長期化したことから、新規受注が想定を下回りました。

資産AX事業においては、暗号資産の保有・運用にAIを組み合わせた独自モデルの構築・推進を継続しております。なお、2026年4月21日に発行を決議した第22回新株予約権等による資金調達が発行時の想定を大きく下回ったことから、当初予定していたデジタル資産への投資の一部を見合わせております。ブロックチェーン関連事業への参画（JapanSOL、2026年9月14日公表）及び経済生放送番組「TOKYO INSIDERS」（2026年9月30日公表）など、運用の知見を生かしたサービスで収益を得る取組みについては着実に進展しております。

なお、2024年10月に解散を決議した連結子会社であるSUPERFACTION PTE, LTD.の清算に伴い、当第３四半期連結会計期間において関係会社整理損269百万円を特別損失として計上いたしました。本件は、純資産の部に計上されていた為替換算調整勘定を損益に振り替える会計上の処理であり、資金の流出を伴うものではなく、現在営業活動を行っている事業に係るものでもありません。

また、スタンダード市場への市場区分変更に向けた準備を継続しており、当該準備に係る費用を一時費用として計上しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高2,061,890千円（前年同期比6.9%減）、営業損失127,852千円（前年同期は営業損失168,706千円）、経常損失156,179千円（前年同期は経常損失155,899千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失474,730千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失554,598千円）となりました。

(2)財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて134,035千円増加し3,327,434千円となりました。これは主に、暗号資産が777,870千円増加したこと、現金及び預金が377,453千円、受取手形及び売掛金が64,691千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて270,215千円減少し、1,007,139千円となりました。これは主に、未払法人税等が189,398千円、長期借入金が122,387千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて404,251千円増加し、2,320,295千円となりました。これは主に、資本金及び資本剰余金がそれぞれ303,586千円増加したこと等によるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期連結業績予想につきましては、当四半期末の業績及び今後の見通しを踏まえ、本決算発表と同日付、「特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正を行っております。

修正の主な理由は次のとおりであります。「マーケティングAX事業」においては、「(1)経営成績に関する説明」に記載のとおり、既存顧客からの売上及び新規受注が期初の想定を下回りました。第２四半期決算発表時点では、下期の受注の積み上げにより計画の達成を見込んでおりましたが、第３四半期以降も受注の回復が遅れていることから、前回発表予想を下回る見込みであります。これに対し当社は、第４四半期より営業体制を強化し、導入されやすいシンプルな提案を増やすとともに、提案先の顧客層を広げることで、受注の回復を図ってまいります。第３四半期に開始した社外パートナーとの取組みも、提案先と案件の幅を広げるものでありますが、いずれも開始して間もないことから、第４四半期の業績への寄与は限定的と見込んでおります。また、来期に向けては、営業体制をさらに強化する計画であります。「資産AX事業」においては、「(1)経営成績に関する説明」に記載のとおり、デジタル資産への投資の一部を見合わせております。加えて、スタンダード市場への市場区分変更に係る準備費用などの一時費用を計上する見込みであります。

修正後の通期連結業績予想は、売上高2,720百万円、営業損失185百万円、経常損失215百万円、親会社株主に帰属する当期純損失550百万円を見込んでおります。

なお、2026年２月13日に公表いたしました決算説明資料に記載の中期利益計画（2027年12月期　売上高50億円、営業利益５億円）につきましては、今回の修正を踏まえて「資産AX事業」を含む事業構成のもとで再設計することといたしました。再設計後の計画は、策定次第改めてお知らせいたします。

## ２．四半期連結財務諸表及び主な注記

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（2025年12月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,528,242 | 1,150,788 |
| 受取手形及び売掛金 | 859,067 | 794,375 |
| その他 | 180,848 | 98,049 |
| 貸倒引当金 | △19,518 | △24,528 |
| 流動資産合計 | 2,548,639 | 2,018,684 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 29,923 | 20,653 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 53,592 | 2,717 |
| 顧客関連資産 | 93,936 | 51,029 |
| その他 | 213,927 | 180,579 |
| 無形固定資産合計 | 361,457 | 234,326 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 160,167 | 165,946 |
| 暗号資産 | － | 777,870 |
| その他 | 94,773 | 111,734 |
| 貸倒引当金 | △1,562 | △1,782 |
| 投資その他の資産合計 | 253,377 | 1,053,769 |
| 固定資産合計 | 644,758 | 1,308,749 |
| 資産合計 | 3,193,398 | 3,327,434 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 267,062 | 241,608 |
| １年内返済予定の長期借入金 | 162,864 | 162,864 |
| 未払法人税等 | 209,543 | 20,144 |
| 借入暗号資産 | － | 107,281 |
| その他 | 325,036 | 288,047 |
| 流動負債合計 | 964,505 | 819,946 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 276,149 | 153,762 |
| 繰延税金負債 | 27,938 | 26,535 |
| その他 | 8,761 | 6,895 |
| 固定負債合計 | 312,849 | 187,192 |
| 負債合計 | 1,277,354 | 1,007,139 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,044,620 | 1,348,206 |
| 資本剰余金 | 1,354,709 | 1,658,295 |
| 利益剰余金 | △386,787 | △853,438 |
| 自己株式 | △12,072 | △12,072 |
| 株主資本合計 | 2,000,469 | 2,140,991 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 14,819 | 21,861 |
| 為替換算調整勘定 | △256,567 | 170 |
| その他の包括利益累計額合計 | △241,748 | 22,032 |
| 新株予約権 | 1,055 | 2,709 |
| 非支配株主持分 | 156,267 | 154,562 |
| 純資産合計 | 1,916,043 | 2,320,295 |
| 負債純資産合計 | 3,193,398 | 3,327,434 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　2025年１月１日<br>至　2025年９月30日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　2026年１月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 2,215,338 | 2,061,890 |
| 売上原価 | 731,726 | 642,282 |
| 売上総利益 | 1,483,611 | 1,419,608 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,652,317 | 1,547,461 |
| 営業損失（△） | △168,706 | △127,852 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,356 | 2,921 |
| 受取配当金 | 480 | 360 |
| 受取手数料 | － | 2,746 |
| 補助金収入 | 3,187 | 400 |
| 受取保険金 | 10,000 | － |
| 投資事業組合運用益 | 1,169 | － |
| 持分法による投資利益 | 6,654 | － |
| 役員報酬返納額 | 5,350 | － |
| 貸倒引当金戻入額 | 4,257 | － |
| 受取家賃 | － | 3,953 |
| 暗号資産売却益 | － | 7,374 |
| その他 | 5,468 | 2,904 |
| 営業外収益合計 | 38,922 | 20,660 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,801 | 6,332 |
| 投資事業組合運用損 | 3,787 | 1,309 |
| 持分法による投資損失 | － | 16,752 |
| 為替差損 | 11,981 | 5,998 |
| 支払手数料 | 3,595 | － |
| 株式交付費 | － | 18,028 |
| その他 | 949 | 567 |
| 営業外費用合計 | 26,115 | 48,987 |
| 経常損失（△） | △155,899 | △156,179 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | － | 490 |
| 投資有価証券売却益 | 357,421 | － |
| 固定資産売却益 | － | 361 |
| 特別利益合計 | 357,421 | 851 |
| 特別損失 | | |
| 特別調査費用 | 729,210 | － |
| 関係会社整理損 | 4,839 | 269,737 |
| 関係会社株式評価損 | － | 7,821 |
| 関係会社株式売却損 | － | 1,952 |
| 訴訟費用 | － | 4,873 |
| 特別損失合計 | 734,050 | 284,385 |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △532,528 | △439,713 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 16,020 | 14,136 |
| 過年度法人税等戻入額 | △6,768 | － |
| 法人税等調整額 | △2,126 | △1,895 |
| 法人税等合計 | 7,125 | 12,241 |
| 四半期純損失（△） | △539,653 | △451,954 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 14,944 | 22,775 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失（△） | △554,598 | △474,730 |

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　2025年１月１日<br>至　2025年９月30日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　2026年１月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 四半期純損失（△） | △539,653 | △451,954 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △175,156 | 7,042 |
| 為替換算調整勘定 | △6,522 | 260,103 |
| その他の包括利益合計 | △181,679 | 267,145 |
| 四半期包括利益 | △721,333 | △184,809 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △737,705 | △201,973 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 16,371 | 17,164 |

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（修正再表示）

（過去の誤謬の修正再表示）

当第３四半期連結累計期間において、過年度に主に貸倒損失が過大計上されていたことを要因として、売掛金が過少計上となっていたことが判明いたしました。これに伴い、過年度の連結財務諸表に誤謬が生じておりますが、各連結会計年度の財政状態及び経営成績に与える影響はいずれも軽微であります。

しかしながら、当該誤謬を当第３四半期連結累計期間において一括修正した場合の累積的影響額が、当第３四半期連結累計期間の業績に与える影響を勘案し、当第３四半期連結累計期間の適正な期間損益計算を行うことを目的として、当第３四半期連結累計期間において当該誤謬の修正再表示を行っております。

この修正再表示により、前連結会計年度以前の累積的影響額を前連結会計年度の期首における資産、負債及び純資産に反映しております。この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、売掛金が45,582千円、利益剰余金が50,235千円それぞれ増加しており、流動資産の貸倒引当金が4,622千円、未払金が30千円それぞれ減少しております。

また当第３四半期連結累計期間において、過年度に未実現損益も含めて評価していたことを要因として、当社が保有する投資事業有限責任組合出資が過大計上となっていたことが判明いたしました。これに伴い、過年度の連結財務諸表に誤謬が生じておりますが、各連結会計年度の財政状態に与える影響は軽微であり、経営成績に与える影響はありません。

しかしながら、前連結会計年度における適正な財政状態を表示することを目的として、当第３四半期連結累計期間において当該誤謬の修正再表示をおこなっております。

この修正再表示により、前連結会計年度の累積的影響額を前連結会計年度の期末における資産、負債及び純資産に反映しております。この結果、投資有価証券が107,907千円、繰延税金負債が33,041千円、その他有価証券評価差額金が74,866千円それぞれ減少しております。また前第３四半期連結累計期間の累積的影響額を前第３四半期連結累計期間における四半期連結包括利益に反映しております。この結果、その他有価証券評価差額金、その他の包括利益合計、四半期包括利益及び親会社株主に係る四半期包括利益が7,787千円それぞれ増加しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額（注1） | 四半期連結損益計算書計上額 |
|---|---|---|---|---|---|
| | マーケティングAX事業 | 資産AX事業 | | | |
| 売上高<br>顧客との契約から生じる収益(注2) | 2,215,338 | － | 2,215,338 | － | 2,215,338 |
| (1)外部顧客への売上高 | 2,215,338 | － | 2,215,338 | － | 2,215,338 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － |
| 計 | 2,215,338 | － | 2,215,338 | － | 2,215,338 |
| セグメント利益 | 152,986 | － | 152,986 | △321,693 | △168,706 |

（注）１．セグメント利益の調整額△321,693千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

２．顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額（注1） | 四半期連結損益計算書計上額 |
|---|---|---|---|---|---|
| | マーケティングAX事業 | 資産AX事業 | | | |
| 売上高<br>顧客との契約から生じる収益(注2) | 2,034,154 | 27,736 | 2,061,890 | － | 2,061,890 |
| (1)外部顧客への売上高 | 2,034,154 | 27,736 | 2,061,890 | － | 2,061,890 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － |
| 計 | 2,034,154 | 27,736 | 2,061,890 | － | 2,061,890 |
| セグメント利益 | 278,983 | 3,048 | 282,031 | △409,884 | △127,852 |

（注）１．セグメント利益の調整額△409,884千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

２．顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの変更）

当社グループは、当期より資産AX事業を開始しております。これに伴い、報告セグメントを従来の単一セグメントから、「マーケティングAX事業」及び「資産AX事業」の２区分に変更しております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

・新株式の発行について

当社は、2026年５月８日にDeFi Development Corpを割当先とする第三者割当増資の払込みを受けました。

この結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ93,450千円増加しました。

・第22回新株予約権の行使について

当社は、2026年５月７日にマッコーリー・バンク・リミテッドを割当先とする第22回新株予約権を発行し、第22回新株予約権89,000個のうち、2026年５月８日から当第３四半期連結累計期間中に保有する本新株予約権（26,701個）の行使による払込みを全額（418,937千円）受けました。

この結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ210,136千円増加しました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ303,586千円増加しました。

・第22回新株予約権及び第23回新株予約権の取得及び消却について

当社は、2026年９月15日に第22回新株予約権及び第23回新株予約権について、残存する全部を取得し、取得後直ちにその全部を消却しました。

この結果、新株予約権が3,174千円減少しました。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　2025年１月１日<br>至　2025年９月30日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　2026年１月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 減価償却費 | 76,881千円 | 72,381千円 |
| のれん償却額 | 13,291千円 | 6,209千円 |

（重要な後発事象）

該当事項はありません。